

環境経営と持続可能性

地球環境問題は、人間の地球を汚す速度が、地球の自然浄化力の限界を上回るようになったために起こっています。私たちは、企業の事業活動、日々の生活そのものが環境に負荷を与えているという事実を、真剣に受け止めるべきではないでしょうか。

現在、持続可能な社会へ向けて、とりわけ企業のあり方が問われているといえます。

GRIのガイドラインでは、その「持続可能性」のキーワードとして、「経済的」「環境的」「社会的」の三側面を挙げています。すなわち、この三つの側面が互いに持ちつ持たれつでないと、企業経営は上手くいかない社会が到来しているのではないかと考えています。

当社は、これまで、上下水道、農業用水のパイプ、橋、水門あるいはごみ処理プラントといった社会資本の整備に貢献してきました。これらの事業を通じて蓄積されたノウハウ、技術が今後、社会的役割を果たす上で、ますます重要となってくると考えています。

21世紀は環境の時代ともいわれています。今後は当社の事業活動の中でも環境に配慮した技術

や製品がいつそう大きなウェイトを占めてくる中で、新事業、新技術の開発を進めるにあたり、「環境」「生活」「産業」の三つの方向で取り組んでいきたいと考えています。

「環境」では循環型社会、環境保全、エネルギー、「生活」では水、ライフケア、インフラ、「産業」では材料・ナノテクノロジー、生産機械といった分野です。また、当社の取り組むべき事業領域として「住み良い地球を次世代に残そう」「循環型社会の構築に貢献しよう」「安全な水を社会に提供しよう」「住み良い都市を造ろう」「産業の基盤を支えよう」の五つにこだわっていきたいと考えています。

20世紀の後半は、地球の自然資源を浪費した時代であったともいえます。科学技術の進歩が人類に豊かさを与えてくれた一方で、地球規模の環境悪化をもたらしています。

今、この限りある地球の自然環境に適合した社会を導き出すことが、全ての企業に課せられた使命であるといえます。私たちは、地球との自然な関係を目指し、持続可能な社会の実現に向けて、環境に配慮した技術、製品を提供することによって貢献したいと考えています。

栗本環境基本方針

私たちは全ての事業活動において、水と大気と生命(いのち)の惑星、地球の環境にこだわったモノづくりに励むため次の活動を進めます。

- (1) 効果的な環境保全活動の推進
- (2) 法規制等の遵守および環境リスクの排除
- (3) 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクル
- (4) 環境調和型製品への移行推進および環境保全機器設備の開発
- (5) 社員の教育、啓発
- (6) 地域社会への貢献 (制定日:1998年6月2日)



株式会社栗本鐵工所
代表取締役社長

坂元良章